氷見交友会館だより

2022（令和4）年　3月号　電話/FAX　0897-57-7248

「越える」

頭が、右に左に揺れながら、負ぶわれた母の背で寝ていたことを、ふと思い出すことがあります。私が小学校に上がるか上がらないかの幼少の、かわいかったころのこと、町の映画館で、使い回しのフィルムを回して映画が上映されていました。それを母に連れられて、何回も観に行きました。けっこうたくさん見たはずですが、大きなカエルに忍者が乗っていた場面以外は覚えていません。きっとすぐに眠ってしまっていたんでしょうね。だからいつも、母に負ぶわれて帰っていったのでしょう。それがどうしたのだ、という声が、聞こえてきそうですが、最後までお読みになれば、きっと「なるほどさがるひょうたん！」と分かります。たぶん。

氷見交友会館では、毎年年度末に、人権啓発カレンダー「こころ」を作成しています。それに、暦と共に６つの人権に関する記事を掲載しています。今回その一つに、「一色耕平」を取り上げました。この会館だよりも年度末ということで、これはもう、「一色耕平」について述べるしかない、ということで、付け焼刃の知識と手もとの少ない資料をもとに、「人を大切にする」という視点で、述べることにします。

明治 38 年７月下旬、燧灘沿岸地域（当時の越智郡、周桑郡）で、稲の葉や道端の草に異変が現れるようになりました。地元有力者であった越智郡（現今治市）の曽我部右吉、周桑の青野岩平、一色耕平、県農会の技師岡田温の４名が、この異変にすぐさま反応し、活発に活動し始めました。彼らは、現地での見聞や聞き取りなどによって、明治 39 年には、その原因を、明治 38 年はじめより四阪島で本格操業された試練所の煙であると結論付けました。そこですぐさま、大阪鉱山監督署長に陳情書を提出し、煙害対策等について要望しました。岡田温は、被害地で見分を行い、煙害は、四阪島精錬所の煙に含まれる亜硫酸ガスによるものであることを突き止めます。一色耕平ら被害町村長が何度も集まり、農業等で被害を受けた住民の生活を守るための方策を立て、様々な行動を起こしていきます。例えば、被害町村長等を委員にした「煙害調査会」を立ち上げ、大阪鉱山監督署、大阪住友本店、住友別子鉱業所、県知事に鉱害防除の陳情書提出や要請行動を行っています。こういった動きの中にあった明治 40 年はじめ、地元新聞に岡田温が越智郡農会に提出した「煙害調査書」の概要が掲載され、広く知られることになります。しだいに対立が激しくなる被害者側と鉱業所側、被害者側の代表でありながら、狭間に身を置いていたのが一色耕平でした。

一色耕平は、青野岩平や曽我部右吉らとともに、被害者の願いを一身に受け、出来得る限りの手立てを講じ、県や国に対する理論的理性的な要望活動を行う一方、巨大企業への煙害防止と損害賠償の交渉を続けました。損害賠償に関する交渉は、明治 42 年４月に尾道でそれぞれの代表者による会談が初めて持たれました。明治 43 年 10 月には、東京の農商務大臣官邸において、県知事を座長にした第１回煙害賠償契約妥協会議を皮切りに、全く煙害がなくなった昭和 14 年 12 月の第 11 回賠償契約更改協議会まで続きました。この昭和 14 年 12 月には、住友鉱業所の努力により、問題の亜硫酸ガスをすべて回収する装置が開発され、四阪島精錬所の煙突からは、有毒ガスが全くでなくなったことが被害者側の確認によって、この煙害問題が完全解決されました。

この完全解決は、曽我部右吉、青野岩平、一色耕平、岡田温、伊沢多喜男たち多くの人々の粘り強く、しかも理性的、理論的に行動したものの結実であることは、間違いありません。明治・大正、あるいは昭和まで、そのころ鉱毒事件は、他にも多くありました。なかでも知られているのが、足尾銅山鉱毒事件とそれに立ち向かった田中正造でしょう。この田中正造と、一色耕平、共通して被害者の命と生活を守る、人の尊厳を守り抜こうとした姿勢でしょう。両者に違いがあるとするならば、被害者と加害者の対立構造か共存姿勢かでしょう。鉱業所相手に立ち向かう一色耕平の深層には、農業と鉱業の両立があったようです。「人口は逐年激増し、文運進み人智開け、産業勃興と共に生存競争は激烈となれり。事業と事業が衝突して彼是争議を生ずるは既に其類例に乏しからず。鉱農の衝突は即ち此の一例なり。斯る場合に際し、何れか其一方を廃止するは不可能なり。一は地中の隠富を発掘し、国富を増す。一方食糧の生産業は最も欠くべからざるなり。茲に於て双方国家の大局に鑑み、国力充実の一助を思ひ、互譲の誠意を以て鉱農併び立つの外なきなり。互譲は善なり、併立は美なり。善美の声や、誠意を要し、修飾的仮面の善美は排斥せざるを得ざるなり。」（一色耕平編著『愛媛県東予煙害史』より）と本人も記述しています。鉱業所との話合いにおいて、一色耕平のこの信念が、ここそこににじみ出たことは容易に推測できます。鉱業所は、一色耕平らの要請に応えるべく、亜硫酸ガスを中和し無毒化する設備を開発し、改良を加えていき、諸外国並みの希釈な亜硫酸ガス濃度まで達しても開発をやめず、濃度０％を達成したのです。対立だけでは到底実現するものではありません。田中正造が全財産と自らの命を懸けた足尾銅山鉱毒事件の結末は、悲壮感に満ちたものでしたが、四阪島煙害事件は、「完全解決」で終焉を迎えています。

一色耕平の深層にあった鉱と農の両立という発想は、人の温かみこそ善である、という気概があったのだろうと、私は思います。他の人がどう考えるかは知りませんが。どうです、書き出しとつながったでしょう。題の「越える」とどうかかわっているのか、という疑問を持たれた人もおられるでしょう。私も同感です。以上、曽我部研二でした。（館長）

氷見交友会館
主 催

3 月開催の各種講座のご案内

【参加される方は、来館前の検温、マスク着用と入り口での消毒をお願いします。】

第3回 健康教室『ヨガ体験』

1/19(水)の振替開催です！

【日時】3 月 16 日(水)　13:30～15:00

【講師】渡邊（わたなべ） 富子（とみこ） さん

【会場】氷見交友会館　会議室

【準備物】ヨガマット(バスタオルでも可)

【定員】10 名　※申し込みが必要です。

（先着順ですが、1/19 にお申込みいただいていた方が優先となります。）

未経験の方も安心して参加できます。参加する方は、体操のできる服装で、お昼ご飯は軽め、または食べずにお越しください。

お申込み・お問い合わせは
氷見交友会館(☎0897-57-7248)まで

お電話下さい！

今後の状況により、中止、または延期となる場合があります。変更があった場合は、お申し込みいただいた方にご連絡いたします。

元気に力強く咲いています！人権の花

2 月 16 日(水)、氷見小学校の児童が、ビオラとパンジーのプランターを会館へ届けてくれました。プランターには「咲かせよう人権の花」と書いてあります。みなさんが心を込めて育てた花たちは、きっと会館を訪れる方々を優しい気持ちにさせてくれるでしょう。ありがとうございました。大切にお世話しますね！

※写真撮影のため、マスクを外しています。

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ひまわり会 10:00～11:30 絵手紙教室 13:30～15:30	3 	4 石鎚クラブ 13:30～15:00	5 休館日
6 休館日	7 生き生き健康体操 13:00～ 歌謡教室 13:30～15:30 楽書教室 13:00～16:00	8 健康管理巡回相談 10:00～12:00 裂織サークル 13:00～16:00	9 ひまわり会 10:00～11:30	10 **人権を考える日** 茶道教室 13:30～15:30	11 書道教室 9:30～10:30 石鎚クラブ 13:30～15:00 華道教室 14:00～16:00	12 休館日
13 休館日 老友会	14	15 **ふれあい喫茶** **13:30～15:00**	16 絵手紙教室 13:30～15:30 **第 3 回健康教室** **13:30～15:00**	17 医療生協 10:00～12:00	18 石鎚クラブ 13:30～15:00	19 休館日
20 休館日	21 休館日 ● 春分の日 	22 裂織サークル 13:00～16:00	23	24 茶道教室 13:30～15:30	25 書道教室 9:30～10:30 石鎚クラブ 13:30～15:00 華道教室 14:00～16:00	26 休館日
27 休館日	28 歌謡教室 14:00～15:00 楽書教室 13:00～16:00	29	30	31		

※来館の際は、事前の検温、不織布相当のマスク着用と入り口での消毒をお願いしております。また、発熱、発熱がなくても体調が悪い方、緊急事態宣言地域等（まん延防止等重点措置地域を含む）からの帰県後 2 週間を経過していない方は、入館をご遠慮下さい。ご協力をよろしくお願いします。

感染症拡大防止対策により臨時休館となる場合、その間予定していた行事や講座はできなくなります。

西条市氷見交友会館

住　所：〒793-0072　西条市氷見乙 1722 番地

TEL･FAX：**0897－57－7248**

Eメール：himikoyukaikan@saijo-city.jp

開館時間：**9:00～17:00（月～金）**

※ 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始は閉館しています。

氷見交友会館では、人権、福祉、健康、職業、生活、教育等の各種相談事業を随時行っています。電話、訪問での相談にも対応いたします。

お気軽にご相談ください